

民衆

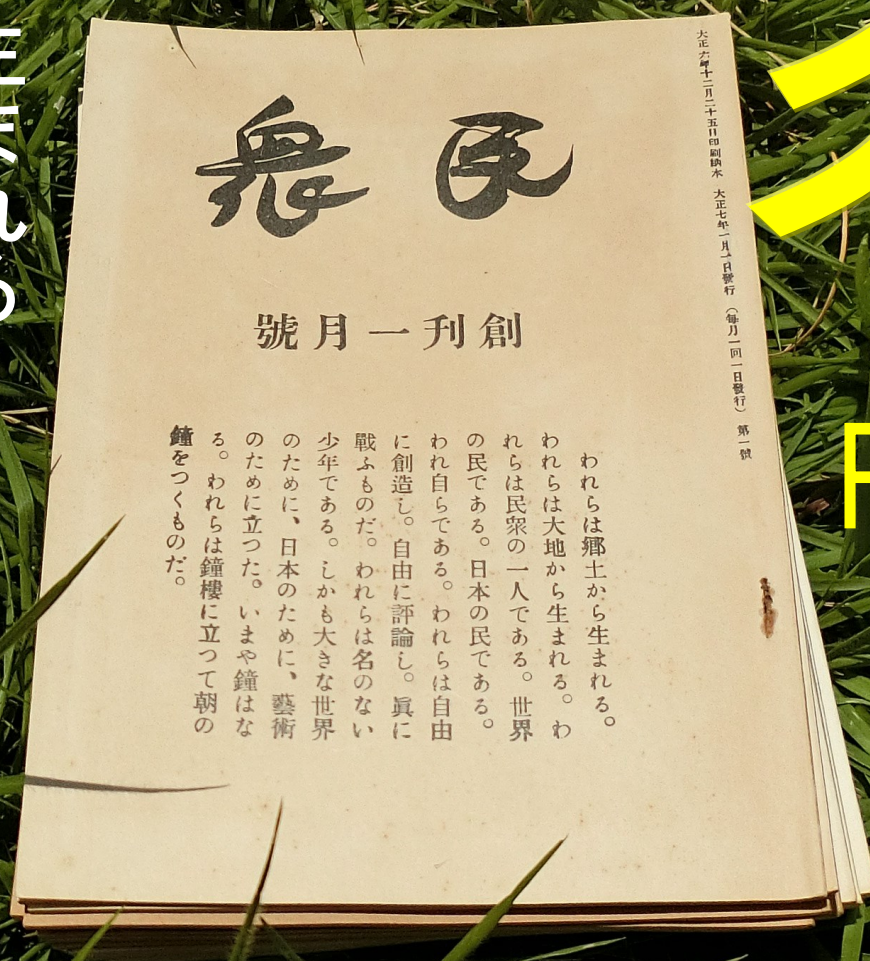
The People 展

われらは郷土から生まれる

2018

10.13[土]

12.2[日]



小田原文学館

神奈川県小田原市南町2-3-4
tel. 0465-22-9881



百田宗治

『日本近代文学大系』
54巻より



富田砕花

芦屋市立美術館蔵



白鳥省吾

白鳥省吾記念館蔵



富田正夫

当館蔵



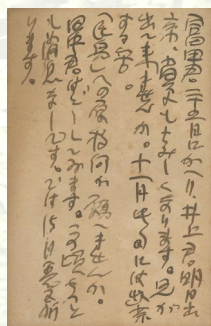
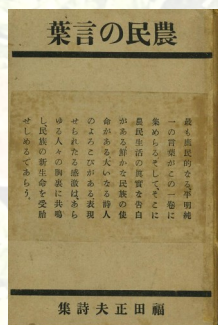
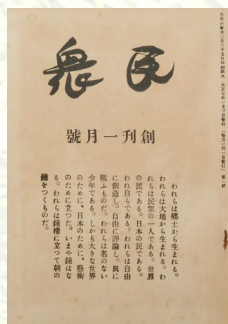
井上康文

当館蔵

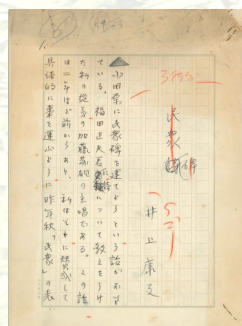
創刊100年記念 The People 民衆展 われらは郷土から生まれる

詩誌「民衆」は、大正7年(1918)1月に小田原出身の詩人福田正夫や井上康文らが創刊しました。創刊号の表紙では、「われらは郷土から生まれる。われらは大地から生まれる。われらは民衆の一人である」「われらは自由に創造し。自由に評論し。真に戦ふものだ」と宣言し、白鳥省吾、百田宗治、富田砕花などが意欲的に作品を発表しました。アメリカン・デモクラシーを代表する詩人ウォルト・ホイットマンやホレーズ・トロベールの影響下に、労働者や農民に寄り添った詩を作ることによって民衆に芸術を近づけることを目指した彼らは、「民衆詩派」と呼ばれました。経済的事情などにより、途中休刊を挟み3年ほどで「民衆」は終刊を迎えますが、口語自由詩の普及など以後の詩史に足跡を残したとされます。

「民衆」創刊100年を記念して開催する本展では、この雑誌やそこに集った詩人たちの軌跡をたどります。



富田君二十五日にかへり、井上君明日出京、小田原もさみしくなります。兄が出て来ませんか。十一月月中旬には出京する筈。「民衆」への原稿何か願へませんか。田中君はどうしてあます。この頃ちつとも消息なしです。では御自愛祈ります。



- 1 「民衆」創刊号、大正7年1月、当館蔵
- 2 井上康文『愛する人へ』新橋堂書店、大正9年、当館蔵
- 3 福田正夫『農民の言葉』南郊堂、大正5年、当館蔵
- 4 福田正夫葉書(白鳥省吾宛) 大正6年10月20日付、当館蔵
- 5 井上康文「民衆碑」昭和33年3月稿、当館蔵



民衆碑除幕式 昭和34年1月26日 当館蔵

The people are The masters of the life: The people The people !

庶民は人生の主人である、庶民、庶民よ、

福田正夫訳「トラウベル詩集」「民衆」10号より

会期中のイベント

[学芸員による展示解説]

日時 10月25日(木)、11月3日(祝・土)、
12月2日(日)
11:00~/13:30~(各日2回)
場所 本館1階展示室
費用 無料(当日の入館券が必要です)
申込 不要

[ミュージアム・リレー 第254走]

特別展を中心に小田原文学館の見どころをご案内します。

日時 11月9日(金) 10:00~12:00
場所 文学館本館および庭園
費用 無料(入館料免除)
定員 30名
申込 小田原市立図書館(0465-24-1055)
へ電話(11月8日(木)17:00まで)

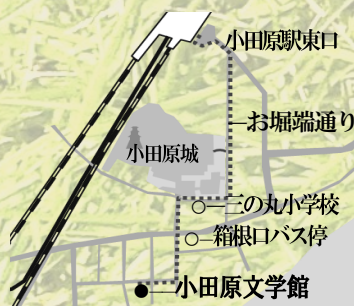
*ミュージアム・リレーとは、神奈川県西部地域ミュージアムズ連絡会(WESKAMS)加盟施設によるリレー形式の催しです。

予告 平成30年10月13日(土) 白秋童謡館の展示リニューアル

改修した白秋童謡館にて、北原白秋の業績や生涯を、童謡創作のエピソードなどを交えた展示により紹介します。

旧田中光顕別邸・国登録有形文化財
小田原文学館

〒250-0013 神奈川県小田原市南町 2-3-4
問合せ 小田原市立図書館 Tel.0465-24-1055



入館料 大人250円、小中学生100円
(団体/障害者手帳をお持ちの方割引有)
アクセス・小田原駅東口から徒歩20分
・小田原駅東口から箱根方面行バス
H/T/J/Z/U線「箱根口」下車徒歩5分
・車で国道1号線「箱根口交差点」から
路地に入り220m右折後直進100m
(駐車場7台・無料)
開館時間 9:00~17:00 (最終入館16:30)